

広報

なかつえ

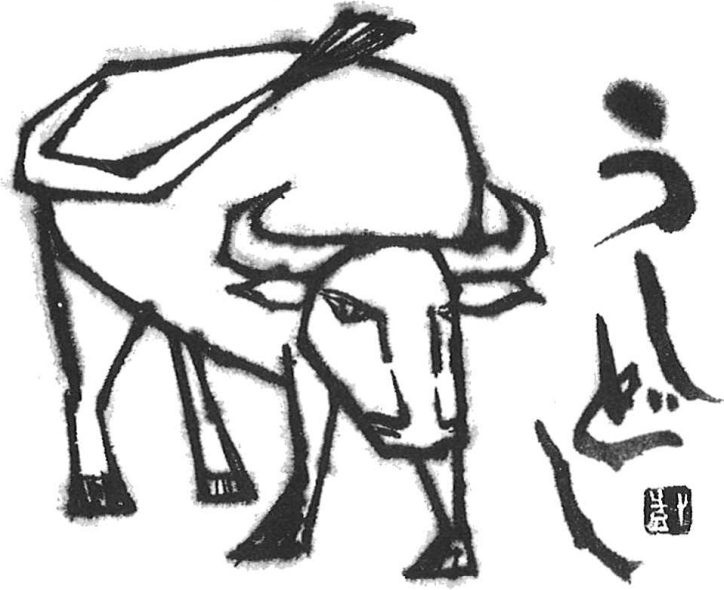
85/

1月号

No. **248**

丑

年



あけまして

あめめで

うまいます

あけましておめでとうござい
ます。

今年^{うし}は丑年、あなたは牛とい
うとどんな連想をしますか。のんび
り、のっそり、それとも厚いピフ
テキ、牛肉の貿易自由化問題、と
思いはさまざまでしょう。

近ごろ、若い人のマス
コットとして、なぜか白
と黒の牛が流行していま
す。牛が役牛として田畑

を耕しているのを見たことのない
若者たちには、牧場でのんびりと
暮らしている乳牛は、童話の世界
に出てくるようなペットとしての
イメージが強いのでしょうか。

しかし、歴史をさかのぼってみ
ますと、牛は、ペットどころか、新

技術^{うし}だったことが分かります。
牛に引かせたすきによる耕作は

紀元前三〇〇〇年ごろ、メソポタ
ミア（現在のイラクを中心とした
地域）やエジプトで「発明」されて
いたそうです。

この新技術は、くわによる耕作

今年^{うし}は丑年

に比べ、はるかに広い田畑を深く
掘り返すことができ、農業の生産
力に革命的な進歩をもたらした、
ということだ。

その後、農業のほか交通、運搬
などにも牛が用いられるようにな
りましたが、これは、人間が自分

の肉体以外の力を動力に利用した
最初の試みの一つだとされていま
す。そして、十七、十八世紀にな
って蒸気機関が発明・実現化され
るまで、牛をしのごく技術上の進歩
は見られないといえますから、い
かに長い間、牛が新技術として「君
臨」してきたかがわかります。

とはいえ、最近では、めったに
牛の働く姿が見られなくなりまし
た。かつての新技術も、いまやす
っかり耕うん機などに、その座を
うばわれてしまったようです。

さて、今年の丑年、モウ烈に生
きるもよし、のんびりと人生を反
芻^{すう}しながら生きるもよし、ともか
くも角つき合わずに仲よくいき
たいものです。

昭和60年 さらに飛躍を!!

村長 齊藤隆一



昭和60年の新春を迎え、おめでとございます。

昨年は地底博物館のオープン以来2年目を迎え、県内はもちろん九州各県、中国、四国地方から観光客が訪れ、12月末で90数万人にも達しました。忙しい一年でした。本年度3年目になるわけですが、観光事業も一応軌道に乗った感じがいたします。

道路の新設、改良、農林業の振興、教育の刷新、環境の整備、福祉の充実等あらゆる施策を取り入れ、真剣に取り組んできました。道路問題では国、県道の改良(国道四四二号、県道日田鹿本線、柿谷菊池線)村、林道の整備、特にスーパー林道の新設、農免農道の整備等実施し、農林業では中山間地基盤整備、特産農業、特用林産物の振興に力を注ぎ、教育では丸蔵、鯛生小の改築、津江中学校の新築等を完了しました。また各地区に自治公民館(集会所)もそれぞれ設置しました。

生金山跡地を住友金属鉱山に土地を含む一切を寄付していただき、地底博物館事業を完成することができました。

基本産業は農林業

本村は基本的に農林業を主体として村づくりをすることは論をまたないところで、55年に農林業を基本産業として基本計画を樹立しさらに、細部の村づくり計画に基づき各種の事業を実施中です。

老人福祉センターもすでにオープンし、その利用も逐次増大し、福祉の拠点として期待されています。

鯛生地区の観光事業は觀光そのものが目的でなく、あくまでも村づくりの一つの手段です。住民が生産、加工した特産物等の直販所として最大限に利用し、所得の増大に結びつけ、村づくりに役立たせることが目的です。村全体の施設であり、農林業、商工業の振興に十分利用していただきたいと思ひます。

本来、鯛生観光事業は本

村の過疎対策事業として計画したものですから、住民の所得の場、雇用の場として活用してはじめて、その目的を達するわけです。また入坑料の収入は村の財政をうるおし、行財政改革の意義も大いにあるわけです。その収入により健全財政を確立し、村づくりに必要な諸事業を積極的に実施したいと思ひます。

これからはじまる 真のむらづくり

昨年12月村議会において60年度からはじまる後期過疎地域振興計画を議決していただきました。60年度から5年間に約27億円の事業費で村づくりに取り組むこととなります。今までの基盤の上にたち、さらに一層村づくりに取り組むつもりです。

積み上げています。考えようによっては本村の真の村づくりはこれから始まるといつても過言ではないと思ひます。

59年9月の推計によると人口減少率は県下で相変らずトップです。また本村の人口構成は国の予測よりも20数年先を先取りして高令化社会を呈しています。過疎対策については一層真剣に取り組まねばなりません。目下の緊急課題は農林業後継者の定着と育成にあると思ひます。

日本経済は景気が上向いているといわれていますが、依然として、低成長でまだまだ不況が続くものと思われまます。国の財政は窮迫し行財政はますます厳しさを加えつつあります。

私は村政の責任者として今後事務改善に徹し、経費の節減を図るとともに収入の増大につとめたいと思ひます。心を新たに村政を執行し、住民の福祉のため最大の努力を傾注して、みな様の負託にこたえることを誓ひ、新年のあいさつといたします。

村勢の発展と生活の安定を

議長 鷹野 勉



あけましておめでとう
ございます。

記念すべき昭和60年の年
頭にあたり、謹んで新年の
ご祝詞を申しあげ、新しい
年が平和で明るくしあわせ
な年であることを祈念する
ものであります。

昨年をふりかえってみま
すと、年明けから記録的な
大雪ときびしい寒波がつづ
く寒い冬と、猛暑の夏でし
た。昔から「雪は豊作の水」
といわれるように順調な天
候に恵まれ、実りの秋には
米作をはじめ、農作物が豊
作になりましたことは農家
はもちろん、住民の生活安
定のために幸いなことであ
りました。

村の行政も村当局の努力

と各位のご協力によって、
当初に計画された事業も達
成されているようでありま
す。一昨年オープンした鯛
生金山観光事業も初年度に
つづき予想以上の業績をあ
げつつあります。

新しい年の村の事業はこ
れから編成される新年度予
算に計上されます。重要な
事業をはじめ、住民生活に
必要な事業がもりこまれ、
これを審議する議会の議決
を得て、これに基づいた村
の行政がはじまります。審
議にあたってはその役務と
責任を自覚し対処してい
かねばならないと思いま
す。来年度の新しい事業は農
業を中心とする産業経済の
発展を基本に住民生活の改
善と安定を図ることを目的
とする行政でなければなら
ないと思えます。そのため
に必要な事業があげられま
す。道路の整備、保健衛生、
教育の充実等いずれも住民
のしあわせと福祉の向上に
必要な事業ばかりでありま

す。

農業の振興については知
事の提唱している一村一品
運動による適地適作が好ま
しく、茶、コンニャク、ワ
サビ等の特産物の生産と増
大し、販売は農協等に依存
し、特に観光みやげものと
しての価値を高めることが
必要なことではないでし
ょうか。

林業の低迷が続いている
ことは林業村である本村に
とっては極めて大変な痛手
であります。幸いなこと
に特産であるシイタケは相
場の変動はあるものの、依
然として所得の高い、安定
した林産物であります。適
地である本地域に併せて高
度の技術を有する生産者が
原木の入手、資金の調達等
ができるよう対策を施さな
ければならないと思いま
す。今年も国も県も財政的に
ずいぶん苦慮しているよう
であります。国は行政改革
と財政難を理由に補助金等
の減額または中止する方針
のようであります。

致協力し、村勢の発展と生
活安定のため全力を注ぎた
いと思えます。
村民各位のご理解とご協
力をお願いして新年のあい
さつといたします。

人生の指標

教育長 佐藤 誠一郎



○ 語録は生きた教え

昨年は村おこしの中核と
なる青壮年男子を対象とし
た「ニューメディア教室」
を開講しましたが、すばら
しい講師と熱心な聴講者で
村づくりへの基盤となる栄
養素が与えられました。さ
らに新しいものを目ざして
飛躍の六十年にしたいもの
と念じております。

先人や指導者の語ること
ばの中に、ハツと考えさせ
られるものがあります。昔

から「語録は生きた教え」
として大事にされてきまし
た。ニューメディア教室を
はじめとして、指標となる
ことばを拾ってみました。
OTBSのラジオの番組に
「おはようございます。片
山竜二です。」というのがあ
りました。片山さんは、あ
る日「今日はいやな天気で
すね。洗濯物が乾かないで
しょうね。」と始めたところ
投書がきました。
「片山さん、私は、あなた
の今日も元気で学校に会社
に出かけましょう。と明る
く呼びかけてくれるのを励
みにしています。曇りの日
だったら、祖母から教わっ
た「雲の上は晴」というこ
とばを使ってください。
祖母はいやな時でも、よい

方向に考える明るい人でした。祖母のそんな考えが大好きです。片山さん、どうか私達を元気づけるようお願いします。」

片山さんはこの投書で反省させられ、ラジオの使命を考えさせられました。

「雨の日には雨の生き方がある」と東井義雄さんが申していることも同じような

ことで、雨だとブツブツ言わず現実をそのままよろこんでいい方向に考えていく

ことが人生の名人でしょう。○人生には喜びもあるが、

苦しみと悲しみが必ず同居しています。子どもにも、

勉強にも知る喜びがあるが勉強する苦痛が伴なうことを

体得させてやりたいものです。(T・S氏)

○やろうとする意志があれば事は必ず成就します。もの

のづくりも五十年を見通してよく考えてやるのが大事

ですが、結局は人づくりです。(Y・K氏)

○生活改善は、地域の人々がおたがいにこうしようと

手を取りあって立ちあがったものがほんもので、足が

地についたものでないと泡

のように消えてしまいます。(O・T氏)

○私はローソクだ。電灯ではない。明るい光ではない

しかし、自分の周囲だけは

明るくできる。自らを燃やし

つつづけ、まわりを明るく

していききたい。(E・K氏)

○健康の秘訣は、何が悪い

何がわるいでなくて、バラ

ンスのとれた生活(食事、運

動、休養、心の安定)という

ことです。(H・Y氏)

(T・O氏)

○私はニュースの放送前三

十分に全部の原稿を一度読

んで全部覚えてしまいます。

その時の私は原稿にいろいろ

のように何が何でも覚えて

しまうのだという真剣勝負

の姿です。(NHK、N・S氏)

私どもは、村をあげて村

づくりががんばっています

が、新年を機に「後世に何

を遺すべきか」を本腰で考

えるべきだと思います。



健康シリーズ

酒を飲むなら



アルコールにはいろいろな飲み方があります。めど

ろいろな肝臓の病気の終着

たいとき飲む酒、うれし

駅です。死因順位を示す統

とき飲む酒、悲しいとき

計では男女とも30〜40代前

飲む酒、つきあいで飲む

半までは6位、45〜50代前

飲む酒、つぎあいで飲む

半までは5位となっています

なんとなく飲む酒など

す。アルコールを常飲しな

……。

い女性にも肝硬変が多いこ

そして、アルコールの種

とから、肝臓の病気はアル

類もいろいろあります。清

コールの飲みすぎによると

酒、ビール、ウイスキー、

は一口にはいえませんが、

ブランデー、ワイン、今は

飲酒家に肝臓の病気が多い

やりの焼酎など……。

のは事実です。

酒は百薬の長とかいい

肝臓は生命を維持する上

ますが、これも、度がすぎ

で非常に重要な働きをして

酒を愛する人が、こうしたことを防ぐためには次のことが必要です。

- ①晩酌は、清酒なら二合くらいまで、ビールなら小びん一本、ウイスキーならダブル一杯。
- ②一週間に一日は、酒なしデーとする。
- ③肴を食べながら飲む。肉、魚、豆腐などたん白質のものを食べながら酒を飲めば肝臓に大きな負担をかけない。
- ④アルコール類を飲んだら米のごはんはいつもの半分以下にする。(肥満を防ぐために)。



国籍法・戸籍法改正

昭和60年1月1日から

と二重国籍になる子が多くなり
ます。

たとえば、韓国人夫、日本人妻の夫婦から生まれた子は、これまでは父親の韓国の国籍だけを取得しましたが、これからはこれに加え、母親の日本国籍をも取得して、二重国籍者になります。

改正法はこのような二重国籍の増加に対処するため新たに次のような重国籍防止のための制度を設けました。

(1) 国籍の留保制度範囲の拡大。

国籍の留保制度というのは自国内で生まれた人に国籍を与えることとしていて、国（アメリカやブラジルなど）で生まれたことにより二重国籍になった子は、日本の国籍を留保する届出をしなければ日本の国籍を失う制度です。

改正法はその適用を広げて、海外において出生により二重国籍となった場合にすべて国籍留保の届出を必ず要とすることになっています。

(2) 国籍の選択制度の新設
二重国籍者は原則として

22歳になるまでに国籍を選択しなければなりません。また、期限をすぎても選択をしないと、催告され、一カ月以内に行なわないと、自動的に日本の国籍を失なうこととなります。

③ 帰化の条件の改正
日本人と結婚した外国人の帰化条件が次のとおりになりました。

・ 3年以上国内に居住していること。
・ 結婚が3年以上続いている場合は10年以上国内に居住していること。

④ 届出による国籍の取得
父母両系主義は、昭和60年1月1日以降に生まれた子どもにも適用されます。

改正法施行の日に20歳未満であるものについては、3年間に限り届け出ることによって国籍を取得することができます。

⑤ 国際結婚をした氏の変更
外国人と結婚しても、日本人の氏は変わりませんが、今後は本人が希望するときには届出ることにより、外国人と同じ氏を名づけることができます。

奨学生を募集しています

昭和60年度の中津江村奨学生を次の要領のとおり募集します。

ご希望の方は1月31日までに書類をそろえ、教育委員会まで提出してください。

▼ 応募資格
① 村内に一年以上居住する者の子弟
② 学業、人物ともにすぐれ、かつ健康な者
③ 経済的理由により、学資の支弁が困難な者。

④ 高校、高専に進学、または在学する者。ただし日田市の県立高校に進学、在学する者は、高校寄宿舎に入寮する（している）者。

▼ 奨学金の額
貸付金額月1万円（年11万円、8月を除く）

▼ 貸付期間
昭和60年4月から進学、在学する学校の修学期間の終了まで無利子で貸付する。ただし、学業成績等が著しく低下した場合、または所得が著しく増加した場合打ち切ることがある。

▼ 返済期間
卒業または退学した年から7年以内に返済のこと
応募手続等について、詳しく知りたい方は教育委員会までお問合せください。

1月26日文化財防火デー

1月26日は文化財防火デーです。

日本の歴史と文化の軌跡を示す文化財を火災から守ることは、私たちひとりひとりの願いであり、責任であるといえます。

わが国の文化財は木造建築や木製、紙製の工芸品が

多いため、常に火災による損失の危険にさらされているといえます。

一年のうちでも冬場と春先は火災シーズン。ちょっとした不注意で火災はおこります。日本の歴史と文化をしっかりと守り、後世に伝えたいものです。

① 父母両系主義の採用
それまでは原則として生まれた時に父親が日本人でなければ、その子は日本人になれなかったのですが、これからは生まれた時父母の一方が日本人であれば、その子は日本人になります。

父母両系主義を採用する

1月7日 消防団出初式

1月7日(月)9時30分から中津江村消防団出初式が津江中学校グランドで行なわれます。当日は永年勤続者等の表彰、各分団の操法訓練、放水訓練が行われます。

1月5日 成人式

成人式は1月5日(土)役場大会議室で(受付9時30分~10時30分)10時30分より行なわれます。今年の対象者は昭和39年4月2日から昭和40年4月1日までに生れた方です。

私たちの日常生活の基本法である民法は「満20才をもって成年とする」と規定しています。つまり、この日から一人前の「おとな」として選挙権も行使でき、酒、タバコも嗜れて解禁ということになります。

成人式は古くからありましたが、成人式は「おとな」になったことを自覚し、新しい時代を担うみなさん方への期待がこめられています。成人になった喜びをかみしめるとともに、成人の日の意義を考えてください。

新成人は次の方々です。阿部新二、猪野福美、池田真二、石永辰雄、江田定義、江藤浩二、梶原聖一、片桐靖則、川上敏弘、合谷育生、嶋崎信治、嶋崎隆美、高岡康雄、高森公浩、中元俊雄、長谷部福美、林卓己、三笠喜代一、水野裕一、横山一彦、猪野聖子、櫛原伊都子、河津昇子、梶原美加、片桐留美、川野成美、清原愛子、合谷喜久美、坂本美保、杉野史佳、平美由紀、高原初美、津江富士美、中元真澄、長谷部美栄、長谷部美和、三笠豊美、水野悦子、森本ルミ子、山之内広子、吉田加代子

地庭博物館大繁盛②

観光の三要素は、味、安心、ありのままの3Aであるといわれているが、私は人間の五感に訴える設備を完備することが必要だと思う。つまり、自然景観のすばらしさを見ることができ、その土地独特のうまいものが食べられ、妙なる音楽やナレーションが聞かれ、歴史と文化の高い香りに包まれ、最後に手でさわると、即ち自分で自らする観光に着目すべきだと思う。観光客自身で何でも実際にやって楽しむことが最近の傾向である。

なお、最近、心の観光ということが強く叫ばれているが、訪れる観光客に接する村人の心、思いやりが観光の基本になるという気がする。そういった意味では、山村の美しい自然とともに素朴で豊かな人情が、何よりも観光客の心をひきつけるのではなからうか。もう一度訪れてみたいという気持ちを起こさせることが、観光を永続させることになる。と信じている。

観光開発の効果も次々に上っている。まず過疎対策の上からは、雇用の場として、およそ50人の職場が確保でき、また特産物等の売り上げも飛躍的に増大し、農林業や商工業の発展に役立つている。さらに、入場料の収入、レストハウスや特産物販売所の売り上げにより、多額のお金が外部から流入し、村内の景気浮揚や経済の活性化を促したといえる。

しかし、その反面、バス客で、老人、婦人、家族連が多い。なお、今後は修学旅行の生徒を誘致したらどうかと思っ

現在のように、情報化、国際化しつつある社会情勢の中にあつて、急を要することは、すみやかに広域観光ルートを確立することである。阿蘇、くじゅう、日田、杖立などの周辺観光地とも結びあつていかなければならない。

随想 よみがえる金山 齊藤隆一

また今年になって、国から家族旅行村の指定を受けたので、昭和60年度から3年がかりで取りかかることになった。地底博物館はその家族旅行村の坑内観光ゾーンとして位置づけ、他に宿泊、スポーツ、レクリエーション、溪流等の各ゾーンの施設を整備し、中規模の観光、レクリエーション基地として、むらづくりに邁進しようと思つてい

随想「よみがえる金山」は今回をもって終了いたします。ご愛読ありがとうございました。

なお、ご意見、ご感想がございましたら広報係までお寄せください。

歳時記

獅子舞い



「おめでとうございます」と威勢のいい声とともに獅子舞いが現れると、子供たちはあわてて奥にひっこみます。

お正月にこんな風景が見られたのも昔の話。赤い顔に金歯をキラキラさせた獅子頭、そして体には緑に白の唐草模様の布をかぶった獅子舞いが、万歳などとともに、家々を門付けして回ったものです。

獅子は、厄ばらい、家内安全を祈って踊ります。特に子供は、獅子の口で頭を噛んで

もらうと健康に育つといわれていたの、獅子は子供を見ると口をパクパクさせます。それが怖くて、子供たちは逃げまどいました。

また、この獅子は火災を防ぐ、いわゆる火伏せの御利益もあるといわれていたようです。

ところで、正月は伝統的な行事を振り返るいい機会です。また、文化財についても関心を持ちたいもの。一月二十一日は文化財防火デーです。

昭和二十四年のこの日、世界最古の木造建築である法隆寺金堂の壁画が焼失しました。それをキツカケに昭和三十年に文化財保護法ができ、二度と文化財を「火」で失わないよう、一月二十六日を文化財防火デーとしたのです。わたしたちも、身近な文化財を大切にしたいものです。

農業センサスにご協力を

1985年農業センサスが、昭和60年2月1日に実施されます。

農業センサスは全国47都道府県3,255市町村すべてで実施される大がかりなもので、農業の国勢調査といわれています。

中津江村でも、実施するわけですが、16名の方を調査員に依頼して実施します。

農家の方すべて対象となっておりますので、調査員が訪れた場合にはご協力お願いします。

なお、調査内容はマル秘あつかいですので、重ねてお願いします。

タコあげは安全なところで！

外は北風がピューピュー 子どもたちはタコあげ大好き ぼつぺを真赤に 無中であげている 「おいきみ！あぶないぞ 感電するよ！」

※ご父兄の方をお願いします。電線の近くでは、お子様に絶対タコをあげさせないでください。もし、電線にかかったら危険です。

自分でとらずに九州電力小国営業所（TEL0974-6-2053）へご連絡ください。

鯛生金山 お年玉プレゼント

地底博物館鯛生金山では元旦に入坑者の方に「お年玉プレゼント」をさしあげます。

その内容は、1等から5等までで、1等が5,000円相当の茶器セット。2等3,000円相当の酒器セット。3等1,500円相当の湯呑セット等々。

空くじはありませんが、先着300名様にさしあげます。

鯛生金山の「お年玉プレゼント」昭和60年の運だめしにあなたもいかがですか。

雑記

あけましておめでとうございます。

広報太郎

昭和60年になりました。ようやく年末から寒波が訪れました。それまでが暖冬で、冬を忘れてしまいそうな天候でしかたが、冬らしくなりました。長期予報では寒波も長くつづかないとのこと。冬は雪が降らねばらしくありませんが、昨年初めのようにドカ雪はもういやです。天候は異常なほどではなくほどほどであってほしいものです。

21世紀まであと15年ほどになりました。

今年5歳の子どもが成人するときには21世紀にはいるわけです。

21世紀をめざしての、有意義な昭和60年であってほしいものです。そして、21世紀をめざした広報にしたものですが……。

とにかく、新年、今年もよろしく願います。